

令和四年度 公立学校教員採用候補者選考試験問題

国
語

1 / 15 枚 中

注意 答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。句読点は字数に含む。

第一問題 次の文章を読み、後の問に答えよ。

I

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(注) トクヴィル……十九世紀のフランス貴族。アメリカを訪問し、『アメリカのデモクラシー』を執筆した。
(宇野重規の文章より)

問1 二重傍線部 a 「チクセキ」、b 「ソクバク」、c 「ジリツ」を漢字に直せ。

問2 a にあてはまる接続詞として、最も適当なものを A ～ E から選び、記号で答えよ。

- A なぜなら B たとえば C もちろん D しかし E ところで

問3 傍線部①「デモクラシー」について、次の問に答えよ。

- (1) 「デモクラシー」は一般的にどのような意味で使われているか、漢字四字で答えよ。
(2) 本文において、デモクラシーは「 」をつけて表記されている。その理由を説明したものととして、最も適当なものを A ～ E から選び、記号で答えよ。

- A 筆者の主張を伝えるキーワードとして印象づけるため。
B トクヴィルの著書からの引用であることを強調するため。
C 筆者の考えとは異なるものであることを伝えるため。
D トクヴィルの考えた意味で使用していることを示すため。
E トクヴィルの書いた本の題名であることを示唆するため。

問4 傍線部②「そのような特別な人物は見当たらなくなります」とあるが、このことによって人々は何を失うのか。傍線部②以降の文章から、五字程度で抜き出して答えよ。

問5 ア にあてはまる言葉として、最も適当なものを A ～ D から選び、記号で答えよ。

- A 多数の暴政 B 少数の苛政 C 多数の善政 D 少数の徳政

問6 傍線部③についてトクヴィルはなぜ「人々の関心が、「いま・ここ」に集中しがち」と考えるのか。三十字以上四十字以内で説明せよ。

問7 この文章を授業で学んだAさんは「個人主義」という言葉に興味を持った。個人主義に関する他の文章を探したところ、夏目漱石『私の個人主義』を見つけたので、【フート】を作成して理解を深めることにした。

Ⅱ

御存じの通りイギリスという国は大変自由を尊ぶ国であります。それほど自由を愛する国でありながら、またイギリスほど秩序の調った国はありません。実をいうと私はイギリスを好かないのです。嫌いではあるが事実だから仕方なしに申し上げます。あれほど自由でそうしてあれほど秩序の行き届いた国は恐らく世界中にないでしょう。日本などは到底比較にもなりません。しかし彼らはただ自由なのではありません。自分の自由を愛するとともに他の自由を尊敬するように、子供の時分から社会的教育をちゃんと受けているのです。だから彼らの自由の背後にはきつと義務という観念が伴っています。England expects every man to do his duty といった有名なネルソンの言葉は決して当座限りの意味のものではないのです。彼らの自由と表裏して発達して来た深い根柢をもった思想に違いないのです。

〈中略〉

それで私は何も英国を手本にするという意味ではないのですけれども、要するに義務心を持っていない自由は本当の自由ではないと考えます。というものは、そうした我儘な自由は決して社会に存在し得ないからであります。よし存在してもすぐ他から排斥され踏み潰されるに極まっているからです。私は貴方がたが自由にあらん事を切望するものであります。同時に貴方がたが義務というものを納得せられん事を願って已まないのであります。こういう意味において、私は個人主義だと公言して憚らない積です。

この個人主義という意味に誤解があつては不可せん。ことに貴方がたのようなお若い人に対して誤解を吹き込んで私は済みませんから、その辺はよく御注意を願っておきます。時間が逼っているから成るべく単簡に説明致しますが、個人の自由は先刻お話しした個性の發展上極めて必要なものであつて、その個性の發展がまた貴方がたの幸福に非常な關係を及ぼすのだから、どうしても他に影響のない限り、僕は左を向く、君は右を向いても差支ないくらい自由は、自分でも把持し、他人にも附与しなくてはなるまいかと考えられます。それが取も直さず私のいう個人主義なのです。

（夏目漱石『私の個人主義』より）

【フート】

「個人主義」について考える

I
トクヴィルの「個人主義」
【①】

II
夏目漱石の「個人主義」
【②】

二人の違い（キーワード「社会」）

【③】

次の(1)、(2)について答えよ。

- (1) ①、②には、トクヴィルと夏目漱石が考える「個人主義」の説明が入る。それぞれ二十字以上三十字以内で答えよ。
- (2) ③にはトクヴィルと夏目漱石の「個人主義」の違いが入る。二人の「個人主義」の違いを、「社会」という語を用いて七十字以上八十字以内で説明せよ。

第二問題 次の文章は、太宰治「猿ヶ島」の一節である。海を越えて島にたどり着いた「私」は、木に登ろうとしてその枝を折ってしまった。以下はそれに続く場面である。この文章を読み、後の問に答えよ。(設問の都合上、一部本文に修正を加えている。)

「折ったな。」

その声を、つい頭の上で、はつきり聞いた。私は幹にすがつて立ちあがり、うつろな眼で声のありかを捜したのである。ああ。戦慄が私の背を走る。朝日を受けて金色にかがやくダンガイを一匹の猿がのそと降りて来るのだ。私のからだの中でそれまで眠らされてゐたものが、いちどにきらつと光り出した。

「降りて来い。枝を折つたのはおれだ。」

「それは、おれの木だ。」

崖を降りつくした彼は、さう答へて滝口のはうへ歩いて来た。私は身構へた。彼はまぶしさうに額へたくさんの皺をよせて、私の姿をじろじろ眺め、やがて、白い歯をむきだして笑つた。笑ひは私をいらだたせた。

「をかしいか。」

「をかしい。」彼は言つた。「海を渡つて来たらう。」

「うん。」私は滝口からもくもく湧いて出る波の模様を眺めながらうなづいた。せま苦しい箱の中で過したながい旅路を回想したのである。

「なんだか知らぬが、おほきい海を。」

「うん。」また、うなづいてやつた。

「やつぱり、おれと同じだ。」

彼はさう呟き、滝口の水を掬つて飲んだ。いつの間にか、私たちは並んで坐つてゐたのである。

「ふるさとが同じなのさ。一目、見ると判る。おれたちの国のものは、みんな耳が光つてゐるのだよ。」

彼は私の耳を強くつまみあげた。私は怒つて、彼のそのいたづらした右手をひつ掻いてやつた。それから私たちは顔を見合せて笑つた。私は、なにやらくつろいだ気分になつてゐたのだ。

けたたましい叫び声がすぐ身ぢかで起つた。おどろいて振りむくと、ひとむれの尾の太い毛むくじやらな猿が、丘のてつべんに陣どつて私たちへ吠えかけてゐるのである。私は立ちあがつた。

「よせ、よせ。こつちへ手むかつてゐるのぢやないよ。ほえざるといふ奴さ。毎朝あんなにして太陽に向つて吠えたてゐるのだ。」

私は呆然と立ちつくした。どの山の峰にも、猿がいつばいにむらがり、背をまるくして朝日を浴びてゐるのである。

「これは、みんな猿か。」

私は夢みるやうであつた。

「さうだよ。しかし、おれたちとちがふ猿だ。ふるさとがちがふのさ。」

私は彼等を一匹一匹たんねんに眺め渡した。ふさふさした白い毛を朝風に吹かせながら児猿に乳を飲ませてゐる者。赤い大きな鼻を空にむけてなにかしら歌つてゐる者。縞の美事な尾を振りながら日光のなかでつるんでゐる者。しかめつらをして、せはしげにあちこちと散歩してゐる者。

私は彼に囁いた。

「ここは、どこだらう。」

彼は慈悲ふかげな眼ざしで答へた。

「おれも知らないのだよ。しかし、日本ではないやうだ。」

「さうか。」私は溜息をついた。「でも、この木は本曾極のやうだか。」

彼は振りかへつて枯木の幹をびたびたと叩き、ずつと梢を見上げたのである。

「さうでないよ。枝の生えかたがちがふし、それに、木肌の日の反射のしかただつて鈍いぢやないか。もつとも、芽が出て

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

国
語

6
／
15
枚
中

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

問1 次の(1)、(2)に答えよ。

- (1) 二重傍線部 a 「ダンガイ」、c 「カイキョウ」を漢字に直せ。また、d 「傍」の読みをひらがなで書け。
(2) 二重傍線部 b 「歯」について、太く書かれた部分は何画目に書くか、数字で答えよ。

歯

問2 傍線部①「溜息をついた」とあるが、なぜ溜息をついたのか、十五字程度で答えよ。

問3 傍線部②「私は、この場所から立ち去らうと思つた」の理由として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

- A 「彼」がふるさとの自然を懐かしく語っていることで自分自身もふるさとが懐かしくなり、「彼」のように落ち着ける場所を確保したいと考えたから。
B 居場所として木を確保するために仲間同士で争わなければならない状況にあることを憂慮し、一刻も早くこの島から脱出しなければならないと考えたから。
C 「彼」は自分の故郷にできるだけ近い場所を苦労してようやく確保したようなので、そのような心地よい場所を奪い取ることはできないと考えたから。
D この場所は誰のものでもないはずなのに、争いをしながらようやくこの場所を得たと言っている「彼」の態度にあきれ果て、一緒にいたくないと考えたから。
E 「彼」がこの場所を自分のものにするのにどれだけ苦労したかを知り、そのようなことを知らない自分が気軽にこの木にいるべきではないと考えたから。

問4 傍線部③「陶醉」の意味として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

- A 感動のあまりに取り乱して落ち着かなくなること。
B 美しさに心が落ち着かずになんか嫌な感じがすること。
C 心を奪われてうっとりとした気持ちになること。
D 気持ちが高ぶってそのことにしか目がいかなくなること。
E 心地よさのあまりに安らかな気持ちになること。

問5 〆にあてはまる言葉として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

- A 耳を明かした
B 目を見はつた
C 眉をひそめた
D 鼻についた
E 舌を巻いた

問6 傍線部④「ふびんだつた」について、「ふびん」の意味をふまえながらここに示されている心情について四十字以上五十字以内で説明せよ。

問7

傍線部⑤では、これまでの語り手「私」とは異なる語り手が設定され、逃げた猿が二匹であることを語っている。その効果に関する説明として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

- A 物語の時間軸とは異なる語り手を設定することで、伝聞的に物語を捉え教訓を考えさせる効果が生まれている。
- B 客観的に物語をとらえる語り手を設定することで、二匹の猿の愚かさをより際立たせる効果が生まれている。
- C 心情を語らない語り手を設定することで、二匹の猿の思いや行動を読み手に想像させる効果が生まれている。
- D 登場人物に寄り添わない語り手を設定することで、「彼」の心変わりの軽率さを印象づける効果が生まれている。
- E 人間社会に生きる語り手を設定することで、物語世界が猿の世界に過ぎないことを示す効果が生まれている。

問8

この文章の表現的特徴の説明として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

- A 語り手は自分のことを「私」と表現しているが、「折つたな。」の聲が聞こえる場面では声の対象を「一匹の猿」と表現しており、あたかも「私」が人間であるかのように読ませる工夫がなされている。
- B 「滝口からもくもく湧いて」「ふさふさした白い毛」「波の音が幽かにどぶんどぶんと」などのオノマトペが序盤には多く用いられており、何も知らない「私」の幼さを読み手に印象づけている。
- C 「私」が見た風景や状況について語る際、比較的短い文を段落を変えずに書き連ねることによって、風景や状況が入れ替わり立ち替わり「私」の目の前に現れていることを幻想的に表現している。
- D 「彼」が「私」に人間を「おれたちの見せ物」だとして語っている場面では、それぞれの人間の様子が詳細にかつ次々に語られており、「私」と同様に読み手にも予断を許さないような工夫がなされている。
- E 真実を知った「私」の「みんな知らないのか。」から始まる「彼」とのやりとりの場面では、「私」と「彼」とのやりとりがテンポ良く連続しており、二人の良好な関係が暗転していくことを示している。

第三問題 次の[A]、[B]の文章を読み、後の問に答えよ。(設問の都合上、一部本文に修正を加えている。)

[A]

今昔、丹波の国に住む者あり。田舎人なれども、心に情ある者なりけり。それが妻を二人持ちて、家を並べてなむ住みける。本の妻はその國の人にてなむありける。それをば静かに思ひ、今の妻は京より迎へたる者にてなむありける、それをば、思ひ増りたる様なりければ、本の妻、心憂しと思ひてぞ過しける。

しかる間、秋、北方に山里にてありければ、後の山の方に、いとあはれなる音にて鹿の鳴きければ、男、今の妻の家に居たりける時にて、妻に、「こはいかが聞きたまふか」といひければ、今の妻、「煎物にても甘し、焼物にても美き奴ぞかし」といひければ、男、心に違ひて、「京の者なれば、かやうのことをば興ずらむ」とこそ思ひけるに、「少し心づきなし」と思ひて、ただ本の妻の家に行きて、男、「この鳴つる鹿の音は聞きたまひつるか」といひければ、本の妻、かくなむいける。

[1] われもしかなきてぞ君に恋ひられし今こそこゑをよそにのみきけと。

男、これを聞きて、いみじくあはれと思ひて、今の妻のいひつること、思ひあはされて、今の妻の志、失せにければ、京に送りてけり。さて、本の妻となむすみける。

思ふに、田舎人なれども、男も女の心と思ひ知りて、かくなむありける。また、女も心ばへをかしかりければ、かくなむ和歌をもよみけるとなむ語り伝へたとや。

(『今昔物語集』より)

[B]

やまとうたは、人の心を種として、よろづの言の葉とぞなれりける。世の中にある人、ことわざ繁きものなれば、心に思ふことを、見るもの、聞くものにつけて、言ひ出せるなり。花に鳴く鶯、水にすむ蛙の声を聞けば、生きとし生けるもの、いづれか歌をよまざりける。力をも入れずして天地を動かし、目に見えぬ鬼神をも、あはれと思はせ、男女のなかをも和らげ、猛き武士の心をも、慰むるは歌なり。

(『古今和歌集』より)

(注)

* 1 静か……………つまらなく

* 2 鹿……………秋の風物を代表する一つとして、雄鹿が妻恋いする鳴き声などが和歌に取り上げられる。

* 3 ことわざ繁きものなれば……………さまざまな出来事に関わっているので

問 1 二重傍線部 a～c について、次の(1)、(2)に答えよ。

(1) a 「心憂し」、b 「心づきなし」の意味を答えよ。

(2) c 「て」の文法的説明として最も適当なものを A～E から選び、記号で答えよ。

- A 格助詞「て」
- B 接続助詞「て」
- C 完了の助動詞「つ」の未然形
- D 完了の助動詞「つ」の連用形
- E 強意の助動詞「つ」の未然形

問2 傍線部①「こはいかが聞きたまふか」「傍線部③「いづれか歌をよまざりける」を現代語訳せよ。ただし、①については、「こ」が指す内容を明らかにすること。

問3 Ⅰの歌の説明として適切なものを、A～Eから全て選び、記号で答えよ。

- A 「われ」は本の妻である。過去の助動詞「き」が使われており、夫の愛が過去のものになってしまったことに對する悲しみが表現されている。
- B 「しか」は「然か」と「鹿」の掛詞である。「しかなきて」は「鹿が妻を恋しく思つて鳴く、そのように」という意味になる。
- C 「君に恋られし」は、「男が今の妻に恋をなさってしまった」という意味で、尊敬の助動詞を使って男への尊敬の念を示そうとしている。
- D 「よそ」は「他所」と「四十」の掛詞である。「よそにのみ」は「他の場所にはかり、何度も」という意味で、男に對する強い憤りを表している。
- E 係助詞「こそ」を受けて、末尾の「聞く」が連体形に変化している。この部分には、「私の悲しみの声を聞いてほしい」という願望が表れている。

問4 傍線部②「今の妻の志、失せにければ」とあるが、なぜか。最も適當なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

- A 今の妻は田舎人の男を疎ましく思つており、風流なやりとりをしようとしても応えてくれないから。
- B 今の妻は京の都から迎えた者なので、情趣を解する女性だろうと思つていたが、期待外れだったから。
- C 今の妻は京の都の感覚で生活するので、最初は目新しかったが、徐々に面倒に思うようになったから。
- D 今の妻は食事のことばかりを考えているので、このまま夫婦として生活していけるか不安だったから。
- E 今の妻は本の妻よりも自分を愛してくれるはずだと思つていたが、冷たい態度をとり続けていたから。

問5 Ⅳ、Ⅴの文章に共通して示されているのはどのようなことか。二十字以上三十字以内で答えよ。

問6 ⅣにあるⅠの和歌は、一部表現を変えて『新古今和歌集』にも収められている。また、Ⅴは『古今和歌集』の序文である。この二つの和歌集に関する説明のうち、間違っているものをA～Eから選び、記号で答えよ。

- A 『古今和歌集』、『新古今和歌集』は、『万葉集』とともに三大歌集と呼ばれる。
- B 『古今和歌集』、『新古今和歌集』はともに、天皇の命令で編集された和歌集である。
- C 『古今和歌集』は平安時代に成立した和歌集で、紀貫之が仮名で序文を書いている。
- D 『古今和歌集』の力強くおらかな読みぶりは「ますらをぶり」と言われている。
- E 『新古今和歌集』は鎌倉時代に成立した和歌集で、美しく幻想的な歌が多い。

第四問題 次の文章を読んで、後の問に答えよ。(出題の都合上、旧字体を改め、一部訓点を省略している。)

子¹路²為³蒲⁴宰⁵。為⁶水⁷備⁸与⁹其¹⁰民¹¹修¹²溝¹³洫¹⁴。以¹⁵民¹⁶之¹⁷勞¹⁸煩¹⁹苦²⁰也、人²¹与²²之²³一²⁴簞²⁵食²⁶・一²⁷壺²⁸漿²⁹。孔子³⁰聞³¹之³²、使³³子³⁴貢³⁵止³⁶之³⁷。子³⁸路³⁹忿⁴⁰然⁴¹不⁴²說⁴³、往⁴⁴見⁴⁵孔⁴⁶子⁴⁷、曰⁴⁸、「由⁴⁹也⁵⁰」^①以⁵¹暴⁵²雨⁵³將⁵⁴至⁵⁵、恐⁵⁶有⁵⁷水⁵⁸災⁵⁹。故⁶⁰与⁶¹民⁶²修⁶³溝⁶⁴洫⁶⁵、以⁶⁶備⁶⁷之⁶⁸。而⁶⁹民⁷⁰多⁷¹乏⁷²餓⁷³者⁷⁴。是⁷⁵以⁷⁶簞⁷⁷食⁷⁸・壺⁷⁹漿⁸⁰而⁸¹与⁸²之⁸³。夫⁸⁴子⁸⁵使⁸⁶賜⁸⁷止⁸⁸之⁸⁹、是⁹⁰夫⁹¹子⁹²止⁹³由⁹⁴之⁹⁵行⁹⁶仁⁹⁷也⁹⁸。夫⁹⁹子¹⁰⁰以¹⁰¹仁¹⁰²教¹⁰³、而¹⁰⁴禁¹⁰⁵其¹⁰⁶行¹⁰⁷、由¹⁰⁸不¹⁰⁹受¹¹⁰也¹¹¹。」孔¹¹²子¹¹³曰¹¹⁴、「汝¹¹⁵以¹¹⁶民¹¹⁷為¹¹⁸餓¹¹⁹也¹²⁰、何¹²¹不¹²²白¹²³於¹²⁴君¹²⁵、發¹²⁶倉¹²⁷廩¹²⁸以¹²⁹賑¹³⁰之¹³¹。而¹³²私¹³³以¹³⁴爾¹³⁵食¹³⁶饋¹³⁷之¹³⁸、是¹³⁹汝¹⁴⁰明¹⁴¹君¹⁴²之¹⁴³無¹⁴⁴惠¹⁴⁵、而¹⁴⁶見¹⁴⁷己¹⁴⁸之¹⁴⁹德¹⁵⁰美¹⁵¹。汝¹⁵²速¹⁵³已¹⁵⁴、則¹⁵⁵可¹⁵⁶。不¹⁵⁷、則¹⁵⁸汝¹⁵⁹之¹⁶⁰見¹⁶¹罪¹⁶²必¹⁶³矣¹⁶⁴。」^⑤

(『孔子家語』より)

(注) *1 子路……孔子の門人・仲由の字。

*2 蒲宰……蒲(地名)の長官。

*3 溝洫……田畑の間に掘った溝、水路。

*4 一簞食……竹で編んだ器に入れた飯。

*5 一壺漿……壺に入れた漿(飲み物)。

*6 子貢……孔子の門人・端木賜の字。

*7 忿然……怒って不快となる。

*8 君……主君。

*9 倉廩……政府の管理する米倉。

問1 二重傍線部a「是以」、b「爾」の読みを現代仮名遣いで答えよ。ただし、aは送り仮名を補って答えること。

問2 傍線部①には訓点(返り点・送り仮名)を施し、傍線部③は書き下し文にせよ。

問3 傍線部②の理由として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

- A 子路が豪雨に備えて民に溝の修理を命じたところ、それを聞いた孔子がやめさせたから。
- B 子路が水害を防止するために民と溝を修理したところ、子貢にやめるよう言われたから。
- C 子路が疲れた民に食べ物や飲み物を与えたところ、それを聞いた孔子がやめさせたから。
- D 子路が孔子に民の訴えを聞き入れるよう頼んだところ、子貢にやめるよう言われたから。
- E 子路が主君に飢えた民を救うよう進言したところ、それを聞いた孔子がやめさせたから。

問4 傍線部④「之」が指す内容を十字以内で答えよ。

問5 傍線部⑤について、なぜ孔子は子路が処罰されると考えたのか。四十字以上五十字以内で説明せよ。

問6 本文を学習した後、Bさんのクラスでは更に孔子について調べ、「孔子新聞」を作成して発表することになった。

(1) 本文の内容を記事にした。記事の「小見出し」として適当でないものを、A～Eから一つ選び、記号で答えよ。

- A 師である孔子に反論した子路
- B 仁を実行することの難しさ
- C 民を救おうとした子路への忠告
- D 民衆を励ます孔子の言葉
- E 先生と弟子の激論

(2) 「孔子新聞」の中で、孔子を知るための本を紹介することになった。弟子たちが書いた孔子の言行録で、四書の一つでもある書物の名前を答えよ。

第五問題 学習指導要領について、後の問に答えよ。

○問1は、次に指示するとおり、どちらかを選択して解答すること。

- ・ 中学校受験者は、Ⅰ〔中学校学習指導要領に関する問題〕を解答すること。
 - ・ 高等学校受験者は、Ⅱ〔高等学校学習指導要領に関する問題〕を解答すること。
 - ・ 特別支援学校受験者は、Ⅰ〔中学校学習指導要領に関する問題〕またはⅡ〔高等学校学習指導要領に関する問題〕のいずれかを選択して解答すること。選択した区分について、解答用紙所定の欄に○で囲んで示すこと。
- 問2は全員解答すること。

Ⅰ〔中学校学習指導要領に関する問題〕

問1 次の文章は中学校学習指導要領（平成二十九年告示）「第2章 各教科 第1節 国語」の「第2 各学年の目標及び

内容」の一部である。ア イ オ にあてはまる語句を後のA～Pより選び、記号で答えよ。

〔第1学年〕 2 内容（知識及び技能）

(3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 音読に必要な文語のきまりや ア を知り、古文や漢文を音読し、古典特有の イ を通して、古典の世界に親しむこと。

イ 古典には様々な種類の作品があることを知ること。

ウ ウ の果たす役割について理解すること。

エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。

(7) 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。

(4) 漢字の エ の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を エ で書くこと。

オ オ が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。

- | | | | |
|---------|------|----------|-------------|
| A リズム | B 読書 | C 共通語と方言 | D 話し言葉と書き言葉 |
| E 訓読の仕方 | F 草書 | G 訓点の付け方 | H 表現の特色 |
| I 本や新聞 | J 行書 | K 言葉の響き | L 古語と現代語 |
| M 隷書 | N 文体 | O 漢文の句法 | P 学校図書館 |

Ⅱ〔高等学校学習指導要領に関する問題〕

問1 次の(1)、(2)に答えよ。

(1) 次の文章は高等学校学習指導要領（平成三十年告示）「第2章 各教科 第1節 国語」の「第1款 目標」である。

ア、イ にあてはまる語句を後のA～Hより選び、記号で答えよ。

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、ア や想像力を伸ばす。
- (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、イ を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| A 認識力 | B 言語感覚 | C 表現力 | D 人間性 |
| E 思考力 | F 論理性 | G 語感 | H 感性 |

(2) 次の文章は高等学校学習指導要領（平成三十年告示）「第2章 各教科 第1節 国語」に示された各科目の教材の取り扱いに関する留意事項の一部をまとめたものである。次の①、②に答えよ。

- ① ウ、エ にあてはまる語句を後のA～Hより選び、記号で答えよ。
 ② オ には同じ語が入る。漢字二字で答えよ。

論理国語	【読むこと】
○近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要とされる ウ 文章	○必要に応じて、翻訳の文章や オ における論理的な文章などを用いることができる
文学国語	【読むこと】
○近代以降の文学的な文章	○必要に応じて、翻訳の文章、 オ における文学的な文章、近代以降の文語文、演劇や映画の作品及び文学などについての エ などをを用いることができる

- A 説明的 B 創造的 C 文化的 D 評論文
 E 批評文 F 紹介文 G 実用的 H 鑑賞文

問2 「読むこと」の指導のために「詩の表現とその効果について評価しよう」という単元を設定した。後の(1)～(4)に答えよ。

〔単元の目標〕

対象となる学年の校種別に、この単元の重点指導事項を次の通り設定することとする。

中学校第三学年……………Cウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。

高等学校第一学年…言語文化Cウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。

〔学習の流れ〕

- 1 「レモン哀歌」を音読する。
- 2 作者・高村光太郎やその妻である「智恵子」について知る。
- 3 この詩の表現の中で心に残ったものを挙げ、どのような表現効果を上げているか各自で評価し、鑑賞文を書く。
- 4 グループで意見交換し、もう一度鑑賞文をまとめる。

〔教材〕※設問の都合上、①～⑱の行番号を付けている。

「レモン哀歌」 高村光太郎

- ① そんなにもあなたはレモンを待つてゐた
- ② かなしく白くあかるい死の床で
- ③ わたしの手からとつた一つのレモンを
- ④ あなたのきれいな歯ががりりと噛んだ
- ⑤ トバズいろの香気が立つ
- ⑥ その数滴の天のものなるレモンの汁は
- ⑦ ばつとあなたの意識を正常にした
- ⑧ あなたの青く澄んだ眼がかすかに笑ふ
- ⑨ わたしの手を握るあなたの力の健康さよ
- ⑩ あなたの咽喉に嵐はあるが
- ⑪ かういふ命の瀬戸きはに
- ⑫ 智恵子はもとの智恵子となり
- ⑬ 生涯の愛を一瞬にかたむけた
- ⑭ それからひと時
- ⑮ 昔山巔でしたやうな深呼吸を一つして
- ⑯ あなたの機関はそれなり止まつた
- ⑰ 写真の前に挿した桜の花かげに
- ⑱ すずしく光るレモンを今日も置かう

(1) 「学習の流れ1」この詩を音読させる際、行番号⑪や⑮では漢字の読み方以外にどのようなことに留意させるべきか記せ。

(2) 「学習の流れ3」行番号⑩の表現が心に残ったという生徒がいた。「咽喉に嵐はある」という部分に用いられている比喩の種類とこの部分が表現しようとしていることを答えよ。

(3) 「学習の流れ3」「表現の仕方」や「表現の特色」について評価させる際に重要なこととして当てはまらないものをA～Eから選び、記号で答えよ。

- A なぜそのような判断をしたかについて、根拠を明らかにすること。
- B 感心した点だけでなく違和感を覚えた点についても指摘すること。
- C 評価することを自分が文章を書く際にも役立てるようにすること。
- D 文章を完成されたものとして受け止め、その巧みな表現に学ぶこと。
- E 自分にとってどのような価値をもっているか説明できるようにすること。

(4) 「学習の流れ3」においてこの詩の表現について百五十程度字程度の鑑賞文を書かせたところ、Cさんは次のようにまとめた。

Cさんのノートより

私はレモン哀歌を読んで、少し悲しい気持ちになりました。作者の妻である智恵子が息を引きとっていく様子が伝わってきたからです。また、看病する作者とその妻の智恵子はお互いに深い愛情で結ばれていたんだと感じることもできました。私も将来、そんな人と出会えたらいいなと思いました。

Cさんの鑑賞文にはどのような課題があるか。また、その課題に対してどのような指導をするか。注目させるところを行番号を用いて挙げ、具体的に説明せよ。